

お菓子に関する条例を持つ海南市の図書館で 駄菓子屋さん体験から経済を学ぶ親子向けイベントを開催

官民連携により、子どもの頃から楽しく経済について学べる機会を

図書館機能を中心とする複合施設「海南 nobinos」(和歌山県海南市)は、和歌山の注文住宅会社「DesiE -design house デザイナー」と共同で、1月29日(日)に「ノビノス・キッズマネースクール」を開催します。第1部では5歳から10歳のお子さまを対象に劇や、お店屋さんごっこといった普段の遊びにお金についての学びを取り入れたセミナーを実施、第2部では子ども店長による駄菓子の実演販売を行います。2018年12月に施行された「海南市お菓子の振興に関する条例」というお菓子の条例を持つ海南市らしく、駄菓子屋さん体験をきっかけに、子ども達がお金について興味を持ち、働いてお金を稼いでくれるご家族へ「感謝の気持ち」を持ってもらえればと企画しました。会場では、「お金にまつわる書籍」の読み聞かせや、すぐに借りられるように関連書籍も展示します。

■「お金を」身近に感じてもらう実践型イベント

第1部は「図書館の学びの場」として『お金の教室』で駄菓子店長の練習ともなる勉強と模擬販売に親も一緒に参加します。お金の起源から始まる経済のことを寸劇なども交えて楽しく学び、おもちゃのお金を使った模擬販売までを講師の指導で90分間行います。

第2部では駄菓子販売の実演です。現金を使って、スタッフが用意した駄菓子販売、おつりの受け渡し、銀行での両替、売り上げの計算などを実際に行います。駄菓子屋さんには3~4人で1店舗を担当し、大人が店舗ごとに一人つき、おつりの計算などの確認をしますが、大きな子供たちは小さな子供たちの面倒を見ながら自分たちでお店の運営をしていますし、お客さんの呼び込みも大きな声で「いらっしゃい、いらっしゃい」と頑張ります。予めスタッフが用意したおつりが足りなくなると会場内の「銀行」で両替も行います。



2022年の学習会と駄菓子屋実演の試行時の様子

■民間企業とのコラボによる、新しい形の学習イベントに挑戦

このイベントが実現できた背景には、共同主催の「DesiE-design house デザイナー」の存在があります。図書館だけでは固くなりがちなイベントを、民間企業の柔軟性を活かした講師・カリキュラムを担当し、駄菓子屋さんの店舗配置、デザインなども企業としてのノウハウをふんだんに盛り込んでくれています。デザイナーは、「一生の最も大きな買い物の一つの「家」を購入するための基礎となる経済を、子供のころから学ぶ機会を提供したい」との思いから一昨年からノビノスとの連携・協働企画を立ち上げました。3度の学習会と2022年11月の駄菓子屋実演の試行を経て、今回から年に3回のペースで継続的に「ノビノス・キッズマネースクール」を一緒に開催していきます。お互いに協力ではなく主体的に参加する「連携イベントの官民協働」は図書館では珍しい形と考えていて、毎回の打合せでイベントの内容に工夫を加え発展進行中です。

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南 nobinos 指定管理者 TRC 海南(担当:谷口)

〒642-0002 和歌山県海南市日方 1525-6

E-mail: trc.kainan@trc-sp.jp

TEL:073-483-8739 FAX:073-483-8738

HP <https://kainan-nobinos.jp/>

参考

●ノビノス・キッズマネースクール ～お金のこと、親子で楽しく学ぼう！駄菓子屋さんに参加しよう～

日時:2023年1月29日(日) 第1部 13時00分～14時30分

第2部 15時00分～16時00分(売り切れ次第終了します)

場所:ノビノスホール

募集人数:第1部:お金の教室、駄菓子屋さん店長 40組 ※申込必要

第2部:駄菓子屋さん体験参加(購入のみ) 100名程度 ※申込不要

募集期間:第1部 受付中

第2部 当日参加 100名程度(先着順)

●海南市お菓子の振興に関する条例

平成30年12月20日 条例第34号(平成30年12月20日施行)

本市下津町橋本にある「六本樹の丘」は、みかんの原種であり、お菓子の起源といわれる橘が、古事記や日本書紀に登場する田道間守(タヂマモリ)により6本植えられた場所であると岩屋山金剛寿院福勝寺の縁起に記されており、日本で最初に植えられた場所であるといわれている。

果物は水菓子といわれるように、古くは、菓子と果物とは、意味の違いはなかったものとされる。本市は、みかん、ピワ、桃等の果物の産地としても知られるところであり、日本で最初に植えられた果物の実が先人達の努力により大いに発展し、現在に至っている。これらのことから、本市は「お菓子の発祥の地」といえるのである。

ここに、市、事業者及び市民が協働して、先人達の努力により発展させてきたこの歴史的・文化的資源を広く市内外に発信すること等により、お菓子に関する伝統文化の理解を深め、郷土愛の醸成を図るとともに、地域経済の発展及び地域の振興を図るため、この条例を制定する。

●DesiE -design house デザイェー 概要

店舗名:DesiE -design house デザイェー

住所:〒640-8203 和歌山県和歌山市東蔵前丁39 キーノ和歌山2階 DesiE

事業内容:注文住宅の設計施工/リフォームの設計施工/不動産の売買および斡旋/インテリア商品、家具、雑貨の販売

●「海南 nobinos」施設概要

名称:海南 nobinos (カインアン ノビノス)

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という意味

所在地:和歌山県海南市日方1525番地6

Access:JR海南駅より徒歩7分

開館時間:9:00～21:30

休館日:12月29日～1月3日

運営:指定管理者 TRC 海南

代表団体:株式会社図書館流通センター(本社:東京都文京区 代表取締役社長 谷一文字)

構成団体:株式会社明日香(本社:東京都文京区 代表取締役 萩野吉俗)

:大揚興業株式会社(本社:和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至)

施設内容:①図書館機能/蔵書冊数14万2187冊(うち絵本の冊数5万2402冊)※2022年12月末時点
②市民活動・生涯学習活動支援機能/ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1 ③子育て支援機能/和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など ④カフェ/スターバックス コーヒー 海南 nobinos 店(館内は全て蓋つき飲み物の利用可) ⑤広場



●来館者数関西一“賑わう図書館”

海南 nobinos は、図書館機能を核としながらも、市民活動・生涯学習活動支援機能、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる 5 万 2402 冊(2022 年 12 月末)の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。開館以来、子育て世代をはじめ、幅広い年代の方に利用され、オープンからの来館者数は 150 万人を超え、人口 10 万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります(日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿 2021」より)。



海南の伝統色で彩った館内の様子